

平成27年6月定例会の概要

6月定例会は、平成27年6月19日（金）から7月3日（金）までの会期15日間の日程で開催しました。今定例会では3億4757万円的一般会計補正予算（第1号）をはじめ、財産区特別会計補正予算（第1号）を含む14議案を審議し、それぞれ可決しました。また、報告9件を審議しました。ここでは、補正予算特別委員会での主な質疑の内容を紹介します。

補正予算特別委員会（質疑の抜粋）

【総務費】

駅前東館跡地活用事業

アドバイザー業務委託について

Q 特別委員会ではまだ結論を出しておらず、業務委託は先走りではないか。

A 専門的知識を得ながら市の財政負担などさらに詳細を整理し、議会等との検討材料に活用するために業務委託が必要と考えている。

Q 複合ビルに公共施設を入れて民間商業基盤や集客力が安定するのか。

市として今考えられるリスクはないのか。

A にぎわいにつながる図書館を入れない。周辺に好循環ができる提案を民間に求めたい。

民間撤退リスクが想定されるが、このリスク軽減

減のひとつとして定期借地方式を考えている。

Q 図書館は集客にはメリットだが、駐車場不足はデメリットでありこれもリスクではないか。広場と図書館の共存についてアドバイザー業務において市民意見を聞くのか。

A 駐車場はネットワークが、規模などについて市民の意見を聞くのは難しい。広場の規模などは民間に対して市の希望を出していく。

地域おこし協力隊員の配置

Q 既に中山間地区に配置されている隊員がいるが、今回の配置は、佐木島をベースとして中山間地域全体を対象とするところがあるが、どのような関係を持つのか。

A 他の隊員との連携、佐木島に住み、佐木島を



地域おこし協力隊員

活動拠点として、市内の団体、観光施設との連携

や既存隊員との連携による中山間地域の観光、交流、誘客の推進を図り、誘客などのしくみづくりを担ってもらう。

Q 人選は決定しているのか。

A 人選は、目的、活動内容を示して募集している。今回は、昨年の応募者から人選を考えているが、無理なら新たに公募したい。

地域課題解決支援事業

Q 県の実施する住民組織活動支援事業の採択地区はどこか。

A 県の実施することの事業は、本市では鷺浦町、久井町、大和町が対象区域で、平成26年度は、鷺浦町の「みなと茶屋」設置、本年度は、大和町の和木地区、棕梨地区が採択される。

【民生費】

若者出会い交流応援事業

Q 縁結びサポーター養成講座の具体的内容と委託先について聞く。

A 具体的内容については決定していないが、講師を招いて仲人のような働きをする方を養成する。委託先については決まっていない。

Q 仲人の役割をするにあたり、個人情報取得及び管理について聞く。

A 情報管理が一番大事だと認識している。本人

同意を得ることなどを含め、今後慎重に検討し、進めたい。

【商工費】

電子マネー読み取り機器の設置について

Q 今回、県が発行するHIROCA（ヒロカ）カードを読み取る機器は、どのようなカードでも読みとれるのか。

A ヒロカ以外のほとんどのカードが使えるとのこと、商店街の魅力向上、外国人の誘客にも効果があると考えられる。

Q 今回は帝人通商店街振興組合と三原駅前商店街振興組合の2ヶ所となっているが、今後設置の要望を見込んだ補正予算が出ると考えてよいのか。

A 策定中の総合戦略の中で、商工振興事業とし



カード読取端末例（広島県資料より）

て提案している。今後戦略の中に盛り込むことができれば補正予算等も考えていく。

討論・採決

【討論】

補正予算特別委員会では審査された「一般会計補正予算」他1件の議案の内、一般会計補正予算について反対討論が行われた。

・反対討論

駅前東館跡地活用について複合施設に図書館を入れる提案は市民とともに積み上げた提案ではない。西館との一体的活用策が欠如している。市が今後、財政的リスクを負う危険性がある。

【採決】

討論された一般会計補正予算は、起立採決の結果、賛成多数で可決。他1件の財産区特別会計補正予算については全会一致、原案どおり可決した。

※採決の結果は、15ページ及び三原市議会ホームページ内の「議決結果」をご参照ください。